

4. 各交通モード

4-1 札幌市の「交通体系」

(1) 交通体系の基本的な考え方

前述の考え方に基づき、以下のとおり設定します。

<札幌市の交通体系>

① 公共交通を軸とした交通体系の確立

超高齢社会の到来、将来的な人口減少、地球環境問題への対応等を踏まえ、公共交通の役割はますます高まっており、公共交通に対する意識の醸成や、利用者の利便性向上等の質的レベルアップを図ることにより、公共交通を軸とした交通体系を確立します。

② 適切な自動車交通の実現

公共交通機関による移動が難しい目的や区間に関わる交通を支えるとともに、環境への負荷の低減や安全で快適な歩行者空間の確保などを行うため、必要な道路の整備や自動車交通総量の低減、流れの分散化などにより、適切な自動車交通を実現します。

③ 広域的な交通ネットワークの充実

札幌や札幌複合交流圏の発展のため、国際的、広域的な交通にかかわる安定的で利用しやすいネットワークの確立を図ります。

④ 人と環境を重視した都心交通の実現

道都さっぽろの顔である都心が、経済、文化など様々な活動の中心として、今後とも潤いと活力ある都心であり続けるためには、都心のまちづくりを交通面から支えていく必要があります。

そのため、歩行者が安心・安全に移動、集うことができる空間形成、既存公共交通機関の有効活用、都心を通過するだけの交通は排除するなど、都心の活性化に寄与し、「人と環境」を重視した交通施策を進めます。

(2) 各交通ネットワークの構成・機能

各交通ネットワークの構成・機能については、交通体系の基本的な考え方に基づき、以下のとおり設定します。

● 公共交通ネットワーク

公共交通ネットワークは、大量公共交通機関（地下鉄および JR）を基軸として配置し、後背圏からバスネットワークを各駅に接続することにより、都心等へ向かう広範な交通を大量公共交通機関に集中させます。

バスネットワークは、市内各地域とその近傍の拠点へのアクセスを確保します。

路面電車は、都心や都心周辺部での利便性の高い生活を支えるとともに、観光客などの来訪者にも分かりやすく、その特性を生かし魅力ある都心の創造等に寄与するよう活用を図ります。

交通結節点において、さまざまな交通機関により構成される公共交通ネットワークが十分な機能を発揮するために、各交通機関が相互に連携し、容易に乗り継げることが不可欠であるため、効果的な運用・整備を図ります。

● 道路ネットワーク

道路ネットワークは、多中心核都市構造の形成や札幌都市圏の均衡ある発展を支える必要があることから、都心への不必要な自動車流入を極力抑制するとともに、周辺都市や市内の各地域の拠点へ容易に到達でき、それらの拠点相互が有機的に連結するよう構成します。

● 広域的交通ネットワーク

広域的交通ネットワークと市内交通ネットワークとの有機的な連携に向け、高速自動車道路網と一般道路との結節性の向上や JR と各交通モードとの連絡性の向上を図ります。